

開催しました！

令和8年度 第2回子育てサポータースキルアップ講座



地域の家庭教育支援を担う子育て支援団体や関係機関等の相互連携を図り、子育てサポーター等のさらなる資質向上を目指すことを目的に、「令和8年度第2回子育てサポータースキルアップ講座」を開催しました。

今年度は、令和8年7月31日（金）に田辺総合庁舎にて、関西大学名誉教授石田陽彦様に「地域のこども・若者のためにおとながでること」と題しご講演いただきました。地域の子育て支援や家庭教育支援に携わっている方約60名の参加がありました。



【講演】「地域のこども・若者のためにおとながでること」
～講演とワークショップ（KJ法）～
【講師】関西大学 名誉教授 石田 陽彦 様

子どものすることを「待つ」こと。地域や家庭で子どもにまつわる問題を含め子ども丸ごと「Holding」する（抱える）こと。学校復帰、社会復帰よりもまずは「家庭復帰」から。学校・家庭・地域・福祉で連携し、子どもを見守る重要性…など石田先生からは、子育て支援において今後にかすヒントをたくさんいただきました。

ワークショップでは、KJ法を用いて、それぞれの立場から悩み・困りごとを共有し、解決に向けて活発に話し合う様子が見られました。

《参加された方の感想》

- ・「連携という名のたらい回しはしない、させない」という言葉が印象的でした。
- ・一歳からの支援の必要性がよく感じられました。
- ・「待つ」「第3の方法を考える」「かかえる」「家庭復帰」すごくあたたかみのある対応の仕方だと思います。学びになりました。
- ・「2項対立ではなく、第3の選択を」という言葉がすごく心に残りました。
- ・お腹の中からの長い関わりの大切さを改めて感じました。
- ・グループワークでは、それぞれの立場の悩み事を知ることができ勉強できた。

